

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第15回)

Vistaに続きOffice 2007もサポート終了に。使い続けるか

2017.05.19



去る4月11日、マイクロソフトが「Windows Vista」のサポートを終了した。2014年4月に「Windows XP」のサポートが終了した際には、まだ使い続けていたユーザーが多かったため、大きな話題になった。それに比べると、今回はそれほどの騒ぎになっていない。

だがWindows Vistaに続き、「Microsoft Office 2007」も来る10月にサポートを終了する。OSやアプリケーションをはじめとするソフトウェアのサポートとは何か。サポートが終了するとはどういう事態なのか、どう対応するべきかを確認したい。

マイクロソフトのメインストリームサポートと延長サポート

マイクロソフト製品といえば、誰も思い浮かぶのはOSであるWindowsと統合オフィスソフトウェアのOfficeだ。Windowsはパソコンを使う上で、Officeは特に業務を行う上で、なくてはならない存在だ。

OSやアプリケーション、ハードウェア付属のファームウェアなど含め、コンピューター機器を動かすソフトウェア製品は、基本的にバグやセキュリティホールなどの不具合の修正、あるいは新機能提供のため、開発会社から日々アップデートプログラムが提供される。

こうしたアップデートプログラムの提供は、製品の使い方・機能に対する情報の提供、新機能のリクエストや問い合わせへの対応、補償サービスなどとともに、開発会社の重要なサポートサービスの1つでもある。

ユーザーは、開発会社から提供されたアップデートを適用して、パソコンのソフトウェアを常に最新の状態にしておくのが望ましい。アップデートを怠ると、セキュリティホールを悪意ある者に突かれるなどで、不具合が起きたり情報を盗まれたり、新たな犯罪の踏み台にされたりする危険性があるからだ。アップデートを怠って起きる被害は、ユーザー側の責任にもなりかねない。だから、欠かさずアップデートを行う必要がある。

使い続けたらどうなるか… 続きを読む